

衛星を活用した水道管路の漏水調査業務の共同発注に関する基本合意締結

当企業団は「漏水防止対策基本計画」を策定し、漏水調査を継続的に実施していますが、業務の効率化と経費削減などの様々な観点から、宮城県が実施する「広域連携の枠組みによる人工衛星を利用した漏水調査の共同事業」に合意し、令和7年度に10事業体（宮城県5事業体：当企業団・山元町・蔵王町・川崎町・大衡村、福島県5事業体：いわき市・喜多方市・南相馬市・伊達市・泉崎村）で実施することとしています。

水道管路の劣化を起因とする漏水陥没事故などを未然に防ぐとともに、貴重な水資源を無駄なく有効利用し、今後も、安心・安全な水道水を安定して市民の皆様にお届けしていくための健全な経営に努めてまいります。



[基本合意締結式の様子]

令和7年2月10日：宮城県庁にて

～人工衛星を利用した漏水調査とは～

人工衛星から電磁波を照射し、その反射の特徴から水道水と非水道水を区別します。それで得た画像と管路データをAIで解析することで、漏水の疑いがある範囲を判定することができます。

